

良き企業市民としての 役割を果たすために

企業も社会の一員であるという認識のもと、地域と一体となった社会貢献活動を推進しており、ここでは主な取り組みについてご紹介します。

社会貢献活動についての 考え方と推進体制

「企業も社会の一員である」というスローガンのもと、良き企業市民としていかに社会と共生していくか。これは、単なる金銭的な援助だけで解決できるものではありません。地域と一体となって社会貢献活動に積極的に参加し、継続的に実施していくこと。その活動を通じて、ともに感動し、ともに成長しながら、より良い未来を創造すること。こうした社会貢献活動こそ、NTT西日本グループが行うべき活動であると考えています。

また、こうした社会貢献活動を推進する体制として、経営会議のもとに代表取締役クラスの役員を委員長、関連部長を委員、総務部社会貢献担当を事務局とする社会貢献推進委員会*を設置しています。

*「社会貢献推進委員会」は、2006年7月に「CSR推進委員会」へ発展的に統合しました。

社員の社会貢献活動への支援

○マッチングギフトプログラム

社会貢献活動を目的とした社内の募金活動者または団体が、社員から募った募金をその目的のために寄附を行うにあたり、会社もその寄附先に原則として同額の寄附を行うプログラムを実施しています。2005年度は、12団体に対して総額14,251,146円を寄附しました。

○ボランティアギフトプログラム

社員のボランティア活動を支援するという企業姿勢を明確にし、その活動の推進を図るとともに、社員のボランティア活動を継続的・効果的なもの

とするため、社会福祉の分野で長期にわたってボランティア活動に取り組んでいる社員を対象に、その活動先の施設等に物品を寄贈するプログラムを実施しています。2005年度は、2団体に対してノートパソコンセット、空缶圧縮機を寄贈しました。

○社内表彰制度

社員の士気を高め、社会貢献活動をより一層推進するため、社会貢献活動に積極的であると推薦を受けた個人や組織に対して社内表彰を行っています。

社会福祉活動

○「電話お願い手帳」の発行

「電話お願い手帳」は、1983年に千葉県流山電話局(当時)に寄せられたお客様の要望をヒントに作成されたものです。耳や言葉の不自由な方やお年寄りが、外出先で用件や連絡先などを書いて、近くの方に電話をかけるのをお願いするためのコミュニケーションツールとしてご利用いただいています。現在は、広く全国でご利用いただいており、NTT西日本の各支店をはじめ、地方自治体や福祉団体、ダイエー様、イトーヨーカドー様、イオン様を通じて無料で配布しています。



電話お願い手帳

環境保護活動

○環境クリーン作戦の実施

NTT西日本鳥取支店およびグループ会社は、2005年4月、「春の鳥取砂丘一斉清掃」に、社員や家族など総勢約100名がボランティアとして参加しました。

参加者は、空き缶やペットボトル等を拾うなど懸命に清掃活動に取り組み、鳥取砂丘は元の美しさを取り戻すことができました。



鳥取砂丘での清掃活動

○「企業参画の森づくり」への参加

2006年3月、大分県豊後大野市で行われた「企業参画の森づくり」にNTT西日本大分支店およびグループの社員とその家族約70人が参加しました。

当日は、枝打ちなどの作業を行い、森林の大切さや林業への理解を深めました。



枝打ち作業を行うNTT西日本グループ社員

地域社会活動

○チャリティーバザーの開催

NTT西日本グループでは、地域に密着した社会貢献活動の一環としてチャリティーバザーを開催し、収益金を福祉団体へ寄附しています。

○地域イベントへの参加

NTT西日本グループでは、各地のイベントへ社員等が積極的に参加し、地域との交流を図っています。

スポーツ・文化活動

○シンボルチームによるふれあい教室の開催

シンボルチーム(硬式野球部・陸上競技部)では、スポーツ振興活動を通じた青少年の健全な育成を目的に、地域に密着したふれあい教室を開催しています。

○N響コンサートの開催

NTT西日本グループでは、NHK交響楽団の協力を得て、1985年からさまざまな地域で「NTT西日本N響コンサート」を開催しています。

国際交流活動

○青年海外協力隊への参加支援

NTT西日本グループでは、日本政府が進める開発援助の趣旨に基づき、さまざまな開発途上国に対する政府事業を支援しています。これまでに約10名の青年海外協力隊と約30名の技術協力専門家を派遣しました。また、550名以上の海外研修生を受け入れるなど、電気通信分野での国際協力活動に積極的に貢献しています。